

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 新横浜保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：梅澤 京子	定員（利用人数）： 60名（64名）
所在地：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-11 新横浜スケートセンター2階	
TEL：045-476-5741	
ホームページ： https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 1997年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー		
職員数	常勤職員： 18名	非常勤職員： 12名
専門職員	保育士 23名	看護師 1名
	管理栄養士 1名	栄養師 2名
	調理師 2名	
施設・設備 の概要	(居室数) 保育室4室、事務室兼医務室1室、予備室1室、 厨房1室、職員休憩室1室、	(設備等) 新横浜スケートセンター隣接の建物二階部分。 一階には、スケートショップ・コンビニ・運送 会社のテナント。 エレベーターはないため、階下にインターホン 設置。入口は、テンキー式電子錠。多目的トイレ、 スロープの設置。

③理念・基本方針

ブランドメッセージ：「その子らしく伸びていく」

保育理念：よりよく生きる力(Benesse)の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。

保育目標：1. 自分で考え、すすんで行動する子ども

自分からすすんで物事に取り組む態度をもち、意欲をもって最後までがんばる子ども

2. 友だちと楽しく遊ぶ子ども

さまざまな人と関わることの喜びを知りながら、楽しく遊べる子ども

3. 感性豊かな子ども

さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

保育方針：① 子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます

② 自然な生活の営みの中で子どもが「安定感・安心感・落ち着き」を持てる室内環境をつくります

③ 深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します

④ 身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします

④施設・事業所の特徴的な取組

「その子らしく伸びていく」を大切にしています。毎年、保育理念、目標、方針とは別に、その年の園のテーマを決めています。今年は“芽”です。毎年の野菜栽培も今年は苗からではなく、種から育てることにしました。夏祭りでは、保育指針から読み取った“自分の地域を好きになる”ために、まずは自分が住む街を知ることから始めて、新横浜の街探検をしたり、横浜で“芽”をだしたものを調べ「アイスクリーム・電車・新聞・パン…」をコーナーに生かし「ヨコハマはじめて物語」と題した夏祭りを展開しました。

室内は心地よく過ごせるよう環境設定を心がけ、子どもの“やりたい”という思いが実現できるような玩具や教材・素材を取り揃え、遊びたいこと・やりたいことを自ら選び取り組めるようにし、子どもの主体性を大切にしています。戸外遊びも重視し、運動遊びや園の周りの豊かな自然環境を取り入れながら、子どもたちの「あそびたい」気持ちを引き出しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月12日(契約日)～2021年12月27日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回(年度)

⑥総評

◆特に評価の高い点

1. 子どもたちの「やってみたい」という気持ちが尊重され、一人ひとりがのびのびと育っています

保育室には、様々な文具・素材・廃材などが使いやすいように準備されていて、子どもたちはそれらを自由に取り出し、その日の気持ちにあった遊びを選び、落ち着いて遊んでいます。3・4・5歳児は異年齢のクラスとなっていて、年上の子どもの遊びを見て、年下の子どもが真似をして一生懸命同じものを作ろうとする姿が見られます。時には、年上の子が年下の子どもにやり方を教えたり、一緒に作ってあげたりしています。保育士から子どもたちに向けて、今日はこれをやるという声かけはせず、全員が自然に集まってきて朝の会を始め、子どもたちが話し合って活動を決めていきます。保育士は、子どものやりたいことに合わせ、保育室のレイアウトを工夫しています。子どもは、より遊びやすくなった空間で夢中になって好きな遊びに取り組み、満足感を積み重ねています。

2. 保育士全員で全園児の保育に携わっています

園長を中心に、保育士全員が「みんなでやろう」という気持ちを持って保育に取り組んでいます。日頃から保育士同士が気軽に声を掛け合い、お互いに協力しあって、園全体のアットホームな雰囲気を作っています。クラスの問題点については、クラス担任だけが考えるのではなく、さまざまな立場の職員が意見を出し合って解決策を考えています。子どもの体調やけがの状況については、看護師と連携をとりながら担任以外の保育士も情報を共有し、園児本人や保護者に声をかけ、全保育士で見守っています。

◆さらなる取り組みが期待される点

・地域へのさらなる発信が期待されます

BCP(事業継続計画)を策定し、被災時における支援に取り組んでいますが、地域に向けての具体的な発信がありません。有事の際に地域に対してどんな支援が可能なのか、物資の提供や園として可能な福祉サービス等を明確にし、発信していくことが望まれます。

◆改善が求められる点

・園の特徴や魅力の発信について改善が求められます

園のホームページでは、ベネッセ全体として共通する理念や保育方針についてはわかりやすく書かれています。園独自の特徴や魅力については読み取ることができません。ホームページを工夫したり、別の媒体を利用したり、園だよりを地域へ配布するなど、園の魅力を外部へ伝えていくことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を受け、子どもたちと丁寧に向き合うことの大切さの再確認と、“保育所”としての社会的役割を再認識することができました。

保育歴のまだ浅い職員にとっては、保育所の社会的役割について知る貴重な機会となりました。

評価していただいたことを、全体ミーティングで共有したところ、職員から今後の保育の取り組みへの意欲が汲み取れる意見が多くあがりました。また「もっと改善できる」といった声もあり、職員のさらなる意欲につながっています。

保護者の方からいただいたご意見は、今後、さらに良い保育にするべく貴重なご意見と受け止め、全職員で共有し、活かし、取り入れていきます。

ご指摘いただいた、福祉サービスの具体的な地域に向けての発信、新横浜園独自の特徴や魅力についての外部への発信について、職員みんなで話し合い、改善していきます。

これからも“子どもたちの「やってみたい」という気持ちが尊重され、ひとりひとりがのびのび育つ保育園”であり続けるように、全職員みんなで取り組んでいきます。

保護者のみなさまには、お忙しいなか、アンケートにご協力いただきましたこと感謝申し上げます。

ベネッセ 新横浜保育園

園長 梅澤 京子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり